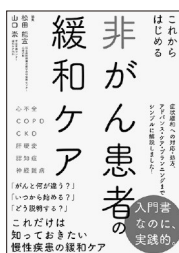


書評

[評者]
木澤義之
神戸大学医学部附属病院
緩和と支持治療科



これから始める
非がん患者の緩和ケア
松田能宣, 山口 崇 編

● A5判 頁 208 2020年3月
定価：本体 3,500 円＋税
[ISBN978-4-8407-5268-8]じほう刊

緩和ケアは、疾患を問わず、命を脅かす「重篤な状態」にある患者と家族が、必要に応じていつでも、どこでも受けることができる医療である。しかしながらわが国ではがんを中心に提供されており、まだがん以外の領域で十分に行われているとは言えない。

本書は松田能宣先生、山口 崇先生という2名の、臨床・研究・教育の力のバランスが取れた素晴らしい緩和医療専門医が編集した、がん以外の疾患に対する緩和ケアの入門書であり実践書である。私達が臨床で出会うことが多い心不全、COPD、CKD、肝硬変、認知症、神経難病についてそれぞれの領域の専門診療＋緩和ケ

アを実践している医師が執筆している。しかも、すべての項目で予後予測とアドバンス・ケア・プランニング、そしてソーシャルサポートの方法が書かれており、この3点は日常診療の質の向上に有用だろう。

緩和ケアは、重篤な疾患をもつ患者とその家族の苦痛を緩和し、今後の治療やケア、生活を最後まで支えていくことがその専門性である。エンドオブライフをその人の人生に沿って支えるジェネラリストと言ってもいいかもしれない。本書で貫かれているぶれないポリシーに拍手を送るとともに、すべての緩和ケア医とジェネラリストに一読をおすすめしたい。